



新しい林業のかたちを目指して



6年生で樹高4mを超える
エリートツリー（H26.10撮影）



広葉樹展示林：チャンチンモドキ
（83樹種を展示）



低密度植栽のスギ造林地
（平成17年植栽 1,500本/ha）



「センターボーイ」君

※当センターを活用した研修、視察、相談等、随時受付中です

九州森林管理局 森林技術・支援センターとは

当センターは、国有林を主なフィールドとし、技術開発目標（次ページ）を踏まえた技術開発試験を試験研究機関や地域林業関係者との連携を図り実施するとともに、各種会議・成果発表等により技術開発結果の普及・定着及び森林総合監理士等技術者を育成するための研修の企画・運営を行っております。



公開講演会の様子



現地検討会の様子

組織図

農林水産省
林野庁

九州森林管理局
森林整備部

森林技術・支援センター

所長

副所長

森林技術専門官

森林技術普及専門官

企画係

業務係

九州森林管理局における技術開発目標

地域管理経営計画における機能類型区分ごとの管理経営の考え方の下で、森林整備の推進に必要な技術開発を行うことを基本的な柱として目標を設定しました。

具体的には、(1) 民有林への普及を念頭にした**林業の低コスト化等**に関する目標、(2) 機能類型区分に応じた公益林としての**公益的機能の維持増進**が図られるような森林整備を推進するための森林施業等に関する目標、また(3) **森林管理全般**にわたる目標を次のように設定しています。

(1) 森林・林業の再生に資する造林・保育・生産技術の確立

- ① コンテナ苗、エリートツリーの活用や、伐採と造林の一貫作業システムによる低コスト造林手法
- ② 機械を活用した列状間伐方法や安全で低コスト化のための機械作業システム
- ③ 末木枝条や未利用の間伐材等を木質バイオマス資源として有効に活用していくための収集・運搬手法 など

(2) 公益的機能の高度発揮のための森林施業及び保全・利用技術の確立

- ① 種の多様度・階層分化を低下させない天然林択伐・更新方法
- ② 長伐期や複層林への誘導や林床植生の保全に適した施業方法
- ③ 環境保全的な小面積皆伐・モザイク伐採や更新等の施業方法
- ④ 野生動植物との共存に向けた森林整備手法
- ⑤ 遺伝資源の適切な維持・保存や保護林のネットワークの形成などの生物多様性保全方法 など

(3) 効率的な森林管理及び健全な森林の育成技術の確立

- ① リモートセンシング技術及び森林GIS等を活用した森林資源情報の効率的利用方法
- ② 天然力を活用した森林育成技術
- ③ 現在育成途上にある森林を健全な状態で育成していくため、気象害・病虫獣害の効果的防止対策 など

技術開発課題（現在実施中）

分類	課題名	概要	市町村 国有林林小班	期間	
低コスト造林 (スギ)	コスト1/2を目指した誘導伐システム(带状伐採による複層林施業)の開発	带状による誘導伐と耐陰性スギの植栽等を行い、伐採から搬出及び更新・保育作業の低コスト化について実証試験	都城市 青井岳国有林 1099 ろ ₁₉	H19~28	
低コスト造林 (スギ)	エリートツリーコンテナ苗と下刈等省力化実証試験	エリートツリーコンテナ苗を中心とした植栽・保育(下刈)作業の低コスト化について実証試験	日南市 山仮屋国有林 122 わ	H24~43	
低コスト造林 (スギ)	エリートツリーコンテナ苗を活用した低コスト造林技術の開発	エリートツリーコンテナ苗植栽による下刈回数の削減と各系統の現地への適応性について実証試験	日南市 和当地国有林 127 れ	H27~30	
		造林木(精英樹)から穂木を採ることによって造林木の成長にどの程度影響を及ぼすのかについて実証試験	御船町 吉無田国有林 1136 ろ		
獣害防止対策	シカネット設置後の効果検証及び被害の傾向と対策調査	設置後の破損・侵入等から効果的なネットの張り方と維持管理手法について検証	都城市 青井岳国有林 1099 ろ ₂₁	木城町 尾鈴国有林 239 に	H28~29

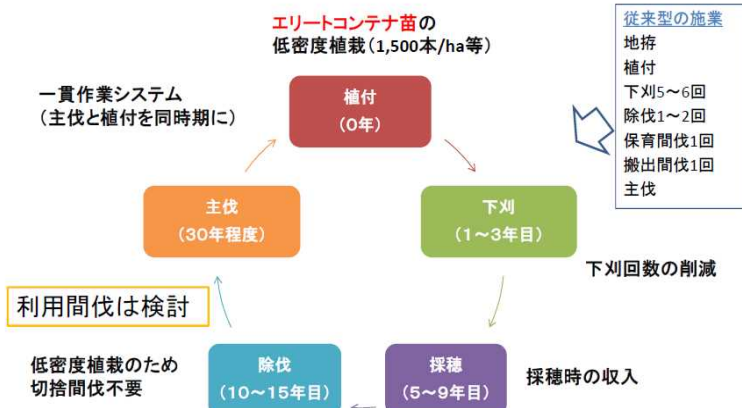
Pick up!!

【エリートツリー】

成長の優れたエリートツリーを活用した造林の低コスト化や短い収穫サイクルでの多様な林業の可能性等、現時点で考えられる低コスト再造林方法(スギ)等を各種会議・視察・研修等で紹介しています。

詳細については、当センターまでご連絡ください。

多様な林業の可能性



※保安林等法令制限の中での低密度植栽

【広葉樹展示林】

暖温帯に分布する有用広葉樹等（シイ・カシ類、ケヤキ、クスノキ、クヌギ、クリ、タブノキ等）83種を植栽（一部自生有り）・保育し、20年生程度に成長している展示林を施業の参考*となるよう紹介しています。

詳細については、当センターまでご連絡ください。

*「広葉樹展示林図鑑」として当センターHPにも掲載



イチイガシ



チャンチンモドキ

【シカ被害対策】

シカ被害対策として、ネットの張り方の違いによるコスト比較やその後の効果的な維持管理等について国有林内で検証中。ネットの設置について現地検討が可能です。

当センターまでご連絡ください。

*シカ捕獲の、「巾着式あみはこわな」「くくり罠」の設置等についても、必要に応じて技術提供します。



直張り



斜め張り



寝かせ張り



ツリーシェルター

【低密度植栽】

人工林の主伐・再造林が増加傾向にあり、造林コストの削減、苗木供給や労働力不足に対応するための一つの手法として、通常の植栽本数より少ない低密度植栽が考えられます。

当センター試験地で低密度植栽した15年生及び20年生程度の造林地の現況等について現地検討が可能です。

当センターまでご連絡ください。

H25除伐後の様子(H11年度植栽)



【天然力活用による優良林分造成】

①ツブラジイなどが多い天然更新地でぼう芽本数の整理（除伐）により用材率を高めるための手法、②部分的な植え込みにより有用樹をバランスよく造成するための手法等について、現地検討等が可能です。

当センターまでご連絡ください。



23年経過時の様子
(ぼう芽1本仕立て)



23年経過時の様子
(ぼう芽3本仕立て)

人材育成のための実践研修（現地検討会）

平成23年度より、地域の森づくりについて、市町村行政等を支援するフォレスター等の人材育成に林野庁あげて取り組んでいます。

平成26年度からは、フォレスター活動を実践していく上で必要な知識・技術を補強し、若手技術者等のレベルアップを図るため、森づくりや造林コストの低減等に向けた先進的な取組をテーマに現地検討を主体とした実践研修を実施しています。



H27実践研修の様子(泉林業:タワーヤーダ)

アクセスマップ



九州森林管理局 森林整備部 森林技術・支援センター

〒880-2222 宮崎県宮崎市高岡町五町273-3

TEL 0985-82-2211

FAX 0985-82-2213

HP :http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/gizyutu_c/index.html